

令和4年度事業報告

(令和4年6月1日～令和5年5月31日)

令和4年度 事業概況

令和4年度は、国外では、昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、欧米諸国の支援を受けるウクライナの抵抗により長期化の様相を呈し、国際市場における穀物や飼料、液化天然ガスの高騰を招くとともに、為替市場においてはウクライナ侵攻による物資の高騰及び日米の金利差の影響を受け円安が進行した。また、新型コロナウイルス感染症の世界規模の感染拡大が続く中、特に中国ではゼロコロナ政策により上海等を都市封鎖したことにより、サプライチェーンが停止する等世界経済に影響を与えていたが、昨年12月に突如ウイズコロナ政策へ大転換を図った。

一方国内では、新型コロナウイルスの感染拡大が1月には第6波、7月には第7波、12月には第8波と増減を繰り返したが、政府では大きく落ち込んだ観光需要喚起策として10月から全国旅行支援を開始した。また令和5年度税制改正においては、エコカー減税が3年延長されたほか、厳しい物価高と新車の納期長期化に対応するため、エコカー減税及び環境性能割について現行の税率区分が本年12月末まで据え置かれた。

このような情勢下、自動車産業においては、サプライチェーンの寸断や、半導体不足の影響を受け、長らくメーカーにおける生産調整が行われたことにより、販売は堅調だが受注残が大量に発生しているという状況が続いたことから、従来、買い替えに伴う下取り車として発生する中古車や使用済自動車が大幅に減少するとともに、使用済相当車についても、中古車として流通する状況となった。なお、生産調整については昨秋以降徐々に改善されはじめ昨年9月から本年3月までの間、12月を除いては登録車の新車販売台数が前年を上回った。

その結果、全国では、登録車の新車販売台数が前年度比4%増の441万781台と4年ぶりに前年度を上回った。また長野県でも登録車の新車販売台数が47,889台と前年度比3.2%増という状況となった。

このような諸情勢の中、令和4年度のリサイクルセンターの運営については、組合員社の使用済車入庫計画台数を当初6,000台に設定したが、年度当初から入庫台数の低迷が続いたことから、理事会の審議を経て11月から使用済自動車及び使用済相当車の買取制度を開始し入庫促進を図ったことにより、入庫台数は買取制度開始前より改善し、12月と3月は損益分岐台数を超えることができたが、今期の使用済自動車等の入庫総台数は前年度比87.7%の3,007台であり、経常利益も対前年度比△44.7%の4千7百万円の赤字という厳しい結果となった。

いずれにしても、リサイクルセンターは、原材料単価の影響を受けるものの、使用済自動車等の入庫台数確保が健全経営のための生命線であることから、入庫台数確保に向けた対策として改善効果の現れた買取制度を継続することにより入庫台数確保に努めるとともに、資源物の分別細分化等による付加価値生産比率の向上、相場変動に対応した販路取引先の選定などに配意した事業運営に取り組んでいくことが必要になっている。

なお、令和4年度事業実績の概況は、下記のとおりである。

	本年度	前年度	前年度比
○ 使用済自動車入庫台数	3,007台	3,426台	87.7%
○ 解体処理台数	3,001台	3,456台	86.8%
○ 事業収入額	263百万円	324百万円	81.2%
○ 経常利益（税引前）	△47百万円	105百万円	△44.7%

I 事業活動の概況に係る事項

1 事業実施状況

①各事業実績

		当年度(台)	計画(台)	達成率	前年度(台)	伸長率
入庫台数		3,007	6,000	50.1%	3,426	87.7%
内 訳	組合員引取	2,975	5,700	52.2%	3,364	88.4%
	組合員持込	29	277	10.5%	58	50.0%
	組合員外	3	23	13.0%	4	75.0%
処理台数		3,001	6,000	50.0%	3,456	86.8%

* 在庫台数 84 台
 * フロン回収・破壊実績 668 kg 2,910 台 230 g/台
 * エアバック回収・破壊実績 12,093 個 2,747 台 4.4 個/台
 * スクラップ(鉄屑)出荷実績 1,689.16 t 563 kg/台
 ○ 参考 フ ロ ン 装 着 率 96.9 %
 エアバック 装 着 率 91.5 %

② 買取制度実施前後の前年度対比の入庫状況

			6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	合計
実 績 (台)	R 3 年 度	使用済	380	384	301	299	290	1,654
		買取車	0	0	0	0	0	0
		合計	380	384	301	299	290	1,654
	R 4 年 度	使用済	177	194	168	145	151	835
		買取車	0	0	0	0	0	0
		合計	177	194	168	145	151	835
		前年比	46.6%	50.5%	55.8%	48.5%	52.1%	50.4%

			11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	合計
実 績 (台)	R 3 年 度	使用済	276	263	209	231	381	237	175	1,772
		買取車	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	276	263	209	231	381	237	175	1,772
	R 4 年 度	使用済	151	133	95	110	219	117	112	937
		買取車	99	204	184	166	232	179	171	1,235
		合計	250	337	279	276	451	296	283	2,172
		前年比	90.6%	128.1%	133.5%	119.5%	118.3%	124.9%	161.7%	122.6%

○ 買取制度実施前（6 月～10 月）の実績は、前年比 50.4%と半分程度であったが、買取制度実施（11 月～5 月）により、前年比 122.6%と大幅に増加した。

③ 買取制度実施前後の組合販社計画台数達成率別状況

単位 組合販社数

	100% 以上	90% 以上	80% 以上	70% 以上	60% 以上	50% 以上	40% 以上	30% 以上	29% 未満	計
買 取 制 度 前 (6月～10月)	4	1	2	0	1	2	1	3	17	31
買 取 制 度 後 (11月～5月)	7	3	0	3	3	2	0	3	10	31
差 異	+3	+2	-2	+3	+2	0	-1	0	-7	—

○ 買取制度前に比べ、計画達成率 100%超えが 3 社増加し、計画達成率 70%以上の組合販社が 6 社増え 13 社になるなど、入庫に対する個々の組合販社の対応が大きく前進した。

④ 買取制度実施前後の県内使用済車引取状況の対比

		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度 (6-10 月)	R4 年度 (11-5 月)
引取台数	長野県内	76,195	68,265	62,666	23,058	34,327
	リサイクルセンター	7,232	5,841	3,426	835	2,172
リサイクルセンター占有率		9.5%	8.6%	5.5%	3.6%	6.3%

○ リサイクルセンターの占有率は、R1 年度以降減少を続けたが、買取制度開始後の R4 年度（11-5 月）は R3 年度より増え、増加に転じた。

2 事業売上高状況

①売上総額

	当年度実績(円)	構成比	前年度実績(円)	伸長率
処 理 手 数 料 収 入	12,519,361	4.8%	27,799,470	45.0%
原 材 料 収 入	172,115,893	65.4%	210,025,519	82.0%
部 品 収 入	78,453,515	29.8%	86,398,830	90.9%
合 計	263,088,769	100.0%	324,223,819	81.1%

②廃棄物処理状況

	当年度実績(円)	構成比	前年度実績(円)	伸長率
廃 タ イ ヤ 類	1,554,580	90.2%	1,674,090	92.9%
そ の 他	169,500	9.8%	187,900	90.2%
合 計	1,724,080	100.0%	1,861,990	92.6%

3 収支等の状況

① 収支状況

		予 算 (円)	当年度実績 (円)	達成率	前年度実績 (円)	伸長率
収 入	事 業 収 入	492,042,000	263,088,769	53.5%	324,223,819	81.1%
	賦 課 金 収 入	451,000	450,909	100.0%	450,909	100.0%
	事 業 外 収 入	1,337,000	1,687,624	126.2%	3,402,704	49.6%
	収入合計	493,830,000	265,227,302	53.7%	328,077,432	80.8%
支 出	事 業 費	251,509,000	286,263,099	113.8%	194,720,215	147.0%
	管 理 費	27,600,000	25,783,774	93.4%	27,749,058	92.9%
	事 業 外 支 出	310,000	371,732	119.9%	131,005	283.8%
	支出合計	279,419,000	312,418,605	111.8%	222,600,278	140.3%
経 常 利 益 (税引前)		214,411,000	△47,191,303	△22.0%	105,477,154	△44.7%

② 買取制度実施前後の事業収益状況の対比

※期間：買取前（R4.6～R4.10）買取後（R4.11～R5.5）

事業外収入・支出除く

		事 業 収 入	経 費 計	事 業 損 益	買 取 支 出	期 間 損 益
買 取 前	累 計	78,655,489	86,575,185	△7,919,696	0	△7,919,696
	月 平 均	15,731,097	17,315,037	△1,583,939	0	△1,583,939
買 取 後	累 計	184,433,280	140,575,688	43,857,592	84,896,000	△41,038,408
	月 平 均	26,347,611	20,082,241	6,265,370	12,128,000	△5,862,629

- 買取制度前は事業損益及び期間損益が赤字であるが、買取後は利益が出ている。ただ、買取による支出があるため期間損益が赤字となっている。

なお、今回の買取支出は経費のように組合外部へ流出する出費ではなく、組合資産が組合販社に還元されていく組合内部における出費である。

- 買取後のうち12月は、処理台数374台（入庫台数337台：損益分岐台数366台）で黒字、3月も処理台数454台（入庫台数451台：損益分岐台数424台）で黒字となった。

4 直前3事業年度の財産及び損益の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	当年度
資 産 合 計	1,449,535,571	1,540,366,583	1,533,939,580	1,408,552,639
純 資 産 合 計	1,374,614,071	1,442,017,549	1,478,174,803	1,362,055,000
事 業 収 益 合 計	129,434,806	191,674,245	129,523,513	△23,141,421
当期純利益合計	93,945,180	139,563,478	94,517,254	△47,679,803

5 設備投資の状況

なし

Ⅱ 運営組織の状況に関する事項

1、総会の開催状況

(1) 通常総会の開催

- ① 開催日時 令和4年7月26日 14時00分～14時30分
- ② 開催場所 ホテルメトロポリタン長野 会議室
- ③ 出席者数 31名（内 委任状15名）
- ④ 重要な事項の議決状況
 - 第1号議案 令和3年度事業報告書の承認の件 原案通り可決承認
 - 第2号議案 令和3年度決算報告書並びに剰余金処分(案)承認の件 原案通り可決承認
 - 第3号議案 令和4年度事業計画(案)及び収支予算書(案)承認の件 原案通り可決決定
 - 第4号議案 組合理事の任期途中辞任に伴う補欠理事の選出の件 適正に選出
 - 第5号議案 定款の一部改正の承認の件 原案通り可決承認
 - 報告事項 (1) 使用済自動車の入庫促進について
(2) 組合員別使用済自動車入庫計画設定について
(3) 組合員代表者の交替について

2、理事会の開催状況

(1) 第1回理事会

- ① 開催日時 令和4年6月28日 14時00分～14時30分
- ② 開催場所 ホテルメトロポリタン長野 会議室
- ③ 出席者数 理事 9名 監事 2名
- ④ 重要な事項の議決状況
 - 第1号議案 令和3年度事業報告の承認の件
 - 第2号議案 令和3年度収支決算書並びに剰余金処分(案)の承認の件
 - 第3号議案 令和4年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件
 - 第4号議案 令和4年度組合員別使用済自動車入庫計画台数の承認の件
 - 第5号議案 使用済自動車の入庫促進案の承認の件
 - 第6号議案 組合理事の任期途中辞任に伴う補欠理事選出方法の件
 - 第7号議案 通常総会日程について
 - 第8号議案 定款等の一部改正について

(2) 第2回理事会

- ① 開催日時 令和4年7月26日 14時35分～14時40分
- ② 開催場所 ホテルメトロポリタン長野 会議室
- ③ 出席者数 理事 9名 監事 2名
- ④ 重要な事項の議決状況
 - 第1号議案 専務理事の選任の件 適正に選出

(3) 第3回理事会

- ① 開催日時 令和4年10月28日 11時30分～12時00分
- ② 開催場所 ホテルメトロポリタン長野 会議室
- ③ 出席者数 理事 8名 監事 2名
- ④ 重要な事項の議決状況

第1号議案 使用済相当車の買取制度の実施について

(4) 第4回理事会

- ① 開催日時 令和5年2月28日 12時45分～14時00分
- ② 開催場所 ホテルメトロポリタン長野 会議室
- ③ 出席者数 理事 7名 監事 3名
- ④ 重要な事項の議決状況

第1号議案 使用済相当車の買取制度継続の是非について

第2号議案 賃金規則等の一部改正について

3、委員会等の開催状況

(1) 第1回 委員会兼正常化委員会合同委員会の開催

- ① 開催日時 令和4年6月14日 10時30分～
- ② 報 告
 - ・令和3年度収支概要報告
 - ・令和3年度事業状況(総括)について
- ③ 議 案
 - ・令和4年度事業計画について
 - ・令和4年度使用済自動車計画入庫台数設定について
 - ・使用済自動車の入庫促進について

(2) 第2回 委員会兼正常化委員会合同委員会の開催

- ① 開催日時 令和4年10月26日 13時30分～
- ② 議 案
 - ・令和4年度当初事業運営計画内容再確認について
 - ・令和4年度上半期9月までの運営状況について
 - ・使用済自動車搬出時における確認等について

4、役員に関する事項

(1) 役員の氏名及び職制上の地位及び兼務役員についての重要な事実

職制上の地位	氏 名	兼務役員についての重要な事実
代表理事(理事長)	宇都宮 進 一	長野トヨタ自動車㈱ 代表取締役社長
副理事長	仁 科 丈 彦	㈱ホンダカーズしなの 代表取締役副代表
専務理事	遠 藤 丈 夫	事務局 専務理事
理 事	東 澤 勝 俊	㈱ホンダカーズ長野中央 代表取締役社長
理 事	富 田 信	長野日産自動車㈱ 代表取締役社長
理 事	西 田 善之助	NTPトヨタ信州㈱ 代表取締役社長
理 事	出 口 浩	長野ダイハツ販売㈱ 代表取締役社長
理 事	平 井 克 哉	松本日産自動車㈱ 代表取締役社長
理 事	瀬 川 道 雄	㈱長野ダイハツモータース 代表取締役会長
理 事	竹 下 英 輔	㈱スズキ自販長野 代表取締役社長
理 事	水 野 右	長野日野自動車㈱ 代表取締役社長
理 事	的 場 智 英	㈱甲信マツダ 代表取締役社長
理 事	中 畑 透	宇都宮商会㈱ 代表取締役社長
監 事	柴 田 忠 昭	南信スバル㈱ 代表取締役会長
監 事	関 本 一 男	長野三菱自動車販売㈱ 代表取締役社長
監 事	小 澤 隆	小澤隆税理士事務所 税理士

(2) 辞任した役員の氏名及び退任月日

理 事	神 野 道 弘	令和4年7月26日
理 事	ハナシロ 剛	令和4年7月26日
専務理事	五 明 利 雄	令和4年7月26日

5、組合員数及び出資口数の増減

(出資1口の金額 100,000円)

	令和4年5月末	増 加	減 少	令和5年5月末
組合員数	31名	名	名	31名
出資口数	1,110口	口	口	1,110口
出資総額	111,000,000円	円	円	111,000,000円

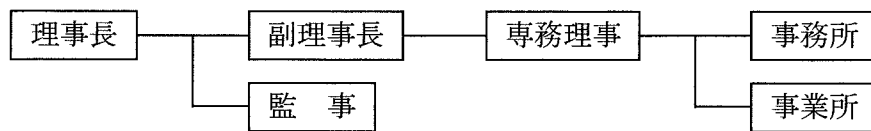
6、職員の状況及び業務運営組織

(1) 職員の状況

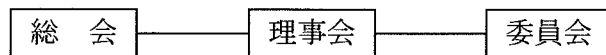
	令和4年5月末	増 加	減 少	令和5年5月末
人 数	25名	名	名	25名
平均勤続年数	12.2年	—	—	13.2年

(2) 組織と決議機関

① 組織



② 決議機関



(諮問機関：一般社団法人長野県自動車販売店協会 理事会)

(3) 組合と協力関係にある組合員が構成する組織の概要

一般社団法人長野県自動車販売店協会 会員数 28 社

一般社団法人日本自動車販売協会連合会長野県支部 会員数 37 社 (準会員を含む)

7、組合運営組織の状況に関する事項

《一般事項》

(1) 届出事項

① 令和 4 年 7 月 26 日 税務申告書提出 (長野税務署、長野地方事務所他)

② 令和 4 年 10 月 7 日 決算関係書類及び役員変更届提出

(長野県長野地域振興局、長野中央会)

(2) 変更登記事項

① 令和 4 年 10 月 7 日 定款変更登記 (長野地方法務局)

Ⅲ その他組合の状況に関する重要な事項

特になし